DVD スーパーマルチドライブ
取扱説明書

PX-880SA

USER'S MANUAL

このたびはプレクスター DVD スーパーマルチドライブ PX-880SA をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。本製品を正しくご使用いただくために、必ず本書をお読みください。

製造番号を確認する

本ドライブに本体背面に貼られたシールには、製造番号が記載されています。
また、製造番号は、本ドライブ個飾箱にも、貼られたシールには製造番号が記載されていますので、もしドライブを PC 内部に取り付けた後、ご確認する場合はこちらをご覧下さい。
この製造番号は、製品に関するお問い合わせや、テクニカルサポートを受ける際に必要となります。本機をパソコンに取り付ける前に、製造番号をご確認いただき、保証書に転記しておかれると便利です。

【重要】

レーザーに関するご注意
取扱説明書に規定した以外の手順による操作を行うと、危険なレーザー放射を浴びることになります。
光ピックアップから放射されるレーザー光は目に見えないため、誤って目に入ったり、人体に触れたりする可能性があります。従って、本機を分解しないでください。

レーザー安全基準
この DVD スーパーマルチドライブは、レーザーに関する
安全基準に適合したクラス 1 レーザー製品です。

本機に関するご注意

- 本機および本書には、プレクスターブランドの著作物が含まれています。したがって、本機および本書の一部または全部を無断で複製・複写・転載・改変することは法律で禁止されています。
- 本機および本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告無しに変更することがあります。
- 本機および本書の内容については万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、弊社お客様サポートまでご連絡ください。
- 本書に記載されている注意事項を遵守されずに発生しました本機および付属品の故障、データの消失、業務の中断、逸失利益、精神的損害等を含め、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は『外国為替および外国貿易法』の規定により戦略物資等輸出規制品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 本アプリケーションディスクに含まれる著作権等の知的財産は、いかなる場合においてもお客様に移転されることはありません。
- 本アプリケーションディスクのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾をいたしません。またソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止いたします。
- 書面による事前承諾を得ずに、本機に付属している全てのソフトウェア単体をタイムシェアリング・リース・レンタル・販売・サブライセンスすることを禁止いたします。
- 本機に付属するソフトウェアを単品で再販売すること、およびソフトウェアの無断複製、賃貸、中古販売することを禁止いたします。
- 本機は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本機を使用され、本機の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようにご注意ください。
- 本機は日本国内仕様です。本機を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本機に関し、日本国外への技術サポートおよびアフターサービス等を行っておりません。あらかじめご了承ください。

  (This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

- 本アプリケーションディスクは一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 本機またはその使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことは禁止いたします。
- 弊社はお客様が上記のいずれかに違反された場合は、いつでも本機の使用を終了させることができるものとします。

安全にお使いいただくために

本機は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は誤った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために以下の記載事項を必ずお守りください。

警告および注意事項について

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると「人体に重大な損傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の内容について

	この表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容を示しています。
	この表示は、禁止（してはいけないこと）の内容を示しています。
	この表示は、必ず行っていただく厳守事項の内容を示しています。
	この表示は、アドバイスやヒントの内容を示しています。

警告

厳守

異常が発生した場合

本機から煙や異臭などの異常が発生した場合は、速やかにパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いて弊社お客様サポートまでご連絡ください。

禁止

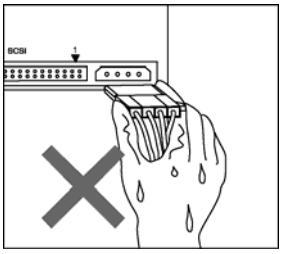
勝手に修理しない

本機を開けて勝手に修理しないでください。カバーを取ると、電流やレーザー光線が放射されることがあり危険です。安全のために、修理は弊社にご依頼ください。

注意

水に注意

本機を濡らしたり、水回りでのご使用はしないでください。また、濡れた手で電源ケーブルなどを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



厳守

電源ケーブルについて

本機の電源コネクタに電源ケーブルを逆挿ししないでください。破損する場合があります。

厳守

本機の取り付け、取り外しについて

本機の取り付け、取り外しは必ず同梱の『Plextor クイックガイド』(DVD ドライブ取付クイックガイド)の手順に従ってください。

禁止

レーザーに関する安全について

指定された以外の方法で操作部、調節部、運転部を使用すると、有害な光線が放射される危険があります。光ピックアップから放射されるレーザー光線は目など人体に有害です。内部をのぞきこまないでください。

注意

注意

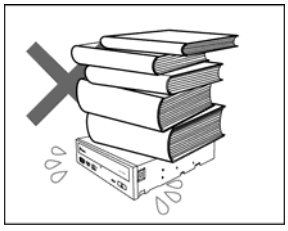
データの紛失に注意する

本機をご使用中にデータ等が紛失した場合、弊社ではデータ等の保証は一切しかねます。必ずバックアップを取ることをお薦めいたします。

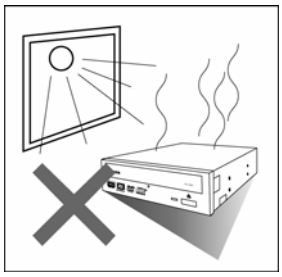
禁止

物を置かない

本機の上に物を置かないでください。過度に重いものを置かれますと故障の原因となります。

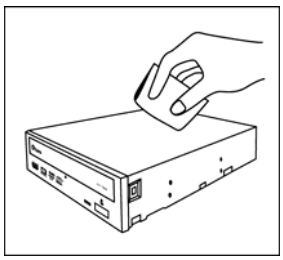


注意



使用場所に注意する

本機を直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤーなど電気製品の近くで使用しないでください。



お手入れに注意する

本機にちりやホコリなど汚れが付着しないようにご注意ください。もし、汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布をご使用ください。水や洗剤、溶剤などの液体が本機にかからないようにご注意ください。シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などは本機の表面を傷めますのでご使用にならないでください。

また、市販の CD レンズクリーナーはドライブの故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

動作中に振動を与えない

本機が動作している際に振動などを与えると、故障の原因となります。

レンズに触れない

本機内部にあるピックアップのレンズには触れないでください。ピックアップが汚れますと、読み書き時のエラーの原因となります。また、位置がズレますと故障の原因となります。

メディアの取り扱い

メディアに汚れが付着しないようにご注意ください。傷、汚れにより読み取りエラーになる可能性があります。

けがに注意

本機のエッジ部などで誤って手を切らぬよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

移動の際などに注意する

本機の中にメディアを入れた状態での持ち歩き、移動運搬はおやめください。故障の原因となります。また、本機を落としたり、揺らしたりしないでください。

本機を修理依頼等で輸送（郵送）する場合は、製品個装箱（購入時に入っていた製品の箱）に入れ、本機が箱の中で動かないようにしっかりと固定してください。

注意

保管について

本機を保管する際は製品個装箱（購入時に入っていた製品の箱）に入れて保管してください。また故障の原因となりますので、本機を以下のような場所で保管しないでください。

- 振動や衝撃が加わる場所
- 水気の多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 傾斜した場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 静電気の影響の強い場所
- 熱を発するものの近く
- 腐食性ガス雰囲気中
- 強い磁力電波の発生するものの近く

電波障害について

本機は無線周波エネルギーを生成、利用、または放射するものであり、設置や使用の際に定められた事項に合わない場合は、無線通信の妨害となる恐れがあります。本機の使用により、ラジオやテレビの受信が妨害されるような場合は、次の方法をお試しください。ただし、どのような設置によっても電波妨害が全く生じないという保証はありません。

- 本機の電源を OFF にする。
- 受信アンテナの位置、あるいは方向を変える。
- 本機と受信器の距離を離す。
- 本機と受信器のコンセントを別々にする。
- 販売店、または経験のあるラジオ/テレビの技術者に相談する。

ドライブ動作時の注意

書き込み、読み出しなどドライブ動作中にパソコンの電源を切らないでください。故障の原因となります。

目 次

目 次 **7**
本機の主な特徴 **9**
DVD-RAM 12 倍速、DVD±R 24 倍速の高速書き込み 9
DVD±R DL　2 層記録メディア 12 倍速の高速書き込み 9
すべての記録型 DVD フォーマットに対応 9
CPRM 再生に対応 9
バッファアンダーラン防止機能搭載 9
書き込み速度について **10**
DVD メディア 10
CD メディア 10
読み込み速度について **10**
DVD メディア 10
CD メディア 10
DVD の規格について **11**
DVD-ROM 11
DVD+R 11
DVD+R DL 11
DVD+RW 11
DVD-R 11
DVD-R DL 11
DVD-RW 11
DVD-RAM 11
DVD でこんなことができる 12
CD の規格について **13**
CD-DA 13
CD-ROM 13
CD-R 13
CD-RW 13
CD-R / RW でこんなことができる 14
各部の呼び方と主な機能 **15**
フロントパネル（前面） 15
リアパネル（背面） 15
動作環境の確認 **16**
動作可能環境 16
推奨メディアについて 16
ドライブの使い方 **17**
メディアを挿入する 17
メディアを取り出す 18
メディアを取り出せない場合は… 18
メディアの取り扱いについて 19
メディアの取り扱い 19
メディアのクリーニング 19
DMA 設定を有効にする 20
Windows®XP の場合 20
Windows Vista™の場合 20
Windows 7™の場合 20
トラブル解決法 **21**
ドライブが認識されない 22
書き込みができない、書き込みエラーになる 23
読み出し時に異音が発生する 23
規定倍速で DVD メディアへの書き込みができない 24

DVD-Video の再生ができない 24
DVD でリードエラー（読み出しエラー）が発生する 24
DVD-Video 再生時にノイズ（雑音）が入る 25
DVD-Video 再生時に映像がコマ送りの状態になる 25
メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない 25
音声は聞こえるのに映像が表示されない 25
規定倍速で CD-R メディアへの書き込みができない 26
規定倍速で CD-RW メディアへの書き込みができない 26
CD-RW メディアのデータを消去したのに書き込み跡が残る 26
メディアに追記できない 27
メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない 27
パソコンのスピーカーから音楽 CD の音が出ない 27
保証について 28
アフターサービス 29
困ったらまずトラブル解決法を 29
お問い合わせでご準備いただくもの 29
製品修理をご依頼いただく場合 29
仕様 30

本機の主な特徴

DVD-RAM 12 倍速、DVD±R 24 倍速の高速書き込み

DVD+R および DVD-R メディアへの 24 倍速書き込みなど、各メディアの高速記録に対応し、ハードディスクの大容量バックアップや DVD-Video の書き込み時間などが大幅に短縮できます。

- DVD±R はフル CAV 方式の採用により、DVD 一枚をわずか 6 分弱の高速書き込み可能。

すべての記録型 DVD フォーマットに対応

DVD±R / RW に加え、お客様から要望の多かった DVD-RAM の書き込み、読み出しをサポートしました。

- DVD-RAM はデータをドラッグ&ドロップするだけで保存、消去、上書きが可能。両面で 9.4GB の大容量を書き込めるのでバックアップにも役立ちます。
- DVD-RAM レコーダーとパソコンとの映像データの連携にも活躍。幅広くご利用いただけます。

DVD±R DL　2 層記録メディア 12 倍速の高速書き込み

DVD-R DL メディアへの 12 倍速書き込みが可能です。8.5GB の大容量データを保存できます。ハードディスクの大容量バックアップが可能になります。

CPRM 再生に対応

家庭用 DVD レコーダーなどで、著作権保護により録画制限された番組を録画したメディアの再生にも対応しました。（編集や記録など再生以外の操作はできません）

バッファアンダーラン防止機能搭載

各メディアに対応したバッファアンダーラン防止機能を搭載、書き込みエラーを強力に防止します。

書き込み速度について

書き込むデータの種類、およびメディアの種類によって、書き込み速度の選択は異なります。
また、メディアの対応速度によっても、書き込み速度の選択は異なります。

DVD メディア

	24 倍速	22 倍速	20 倍速	18 倍速	16 倍速	12 倍速	8 倍速	6 倍速	5 倍速	4 倍速	3 倍速	2.4 倍速	2 倍速	1 倍速
DVD+R	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	−	−	−	−
DVD+R DL	−	−	−	−	−	○	○	○	−	○	−	○	−	−
DVD+RW	−	−	−	−	−	−	○	○	−	○	−	○	−	−
DVD-R	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	−	−	−	−
DVD-R DL	−	−	−	−	−	○	○	○	−	○	−	−	−	−
DVD-RW	−	−	−	−	−	−	−	○	−	○	−	−	○	−
DVD-RAM	−	−	−	−	−	○	○	○	○	−	○	−	○	−

CD メディア

	48 倍速	40 倍速	32 倍速	24 倍速	16 倍速	10 倍速	8 倍速	4 倍速
CD-R	○	○	○	○	○	−	○	−
Low Speed CD-RW	−	−	−	−	−	−	−	○
High Speed CD-RW	−	−	−	−	−	○	−	−
Ultra Speed CD-RW	−	−	−	○	○	−	−	−
Ultra Speed Plus CD-RW	−	−	○	○	○	−	−	−

読み込み速度について

DVD メディア

	16 倍速	12 倍速	8 倍速	6 倍速	5 倍速	4 倍速	3 倍速	2 倍速
DVD-ROM [Single Layer]	○	○	○	○	−	○	−	−
DVD-ROM [Double Layer]	−	○	○	○	−	○	−	−
DVD+R	○	○	○	○	−	○	−	−
DVD+R DL	−	○	○	○	−	○	−	−
DVD+RW	−	○	○	○	−	○	−	−
DVD-R	○	○	○	○	−	○	−	−
DVD-R DL	−	○	−	○	○	○	−	○
DVD-RW	−	○	○	○	−	○	−	○
DVD-RAM	−	○	○	○	○	−	○	○

CD メディア

	48 倍速	40 倍速	32 倍速	24 倍速	16 倍速	10 倍速	8 倍速	4 倍速
CD-ROM	○	○	○	○	○	○	○	○
CD-R	○	○	○	○	○	○	○	○
CD-RW	−	○	○	○	○	○	○	○

DVD の規格について

DVD には様々な規格がありますが、本機は下記の規格に対応しています。

フォーマット	読み出し	書き込み
DVD-ROM	○	－
DVD+R	○	○
DVD-R	○	○
DVD+RW	○	○
DVD-RW	○	○
DVD-RAM	○	○

上記フォーマットのもと、本機は下記のメディアに対応しています。

DVD-ROM

読み出し専用の規格で、DVD 規格の基本となるものです。DVD-ROM は片面一層メディアで 4.7GB、片面二層メディアで 8.5GB の容量があります。

DVD+R

DVD+R は、CD-R と同様に一度だけデータの書き込みが可能な DVD 規格で、多くの DVD プレイヤーにおいて再生が可能です。また、一度書き込みを行ったあと、メディアの空き部分にデータを書き足す追記機能を備えていますが、データを消去することはできません。

DVD+R DL

DVD+R DL は、一度だけデータの書き込みが可能な DVD 規格で、多くの DVD プレイヤーにおいて再生が可能です。また、一度書き込みを行ったあと、データを消去することはできません。片面 2 層構造で 8.5GB のデータ容量があります。

DVD+RW

DVD+RW は、CD-RW と同様にデータの書き換えに対応した規格です。追記機能を備えており、データを消去することも可能です。

DVD-R

DVD-R は CD-R と同様に一度だけデータの書き込みが可能な DVD 規格で、多くの DVD プレイヤーにおいて再生が可能です。また、書き込みを行ったあと、メディアの空き部分にデータを書き足す追記機能を備えていますが、データを消去することはできません。

DVD-R DL

DVD-R DL は、一度だけデータの書き込みが可能です。また、一度書き込みを行ったあと、データを消去することはできません。片面 2 層構造で 8.5GB のデータ容量があります。

DVD-RW

DVD-RW は、CD-RW と同様にデータの書き換えに対応した規格です。追記機能を備えており、データを消去することも可能です。

DVD-RAM

繰り返してデータの書き込みが可能なリムーバブル DVD 規格です。

DVD でこんなことができる

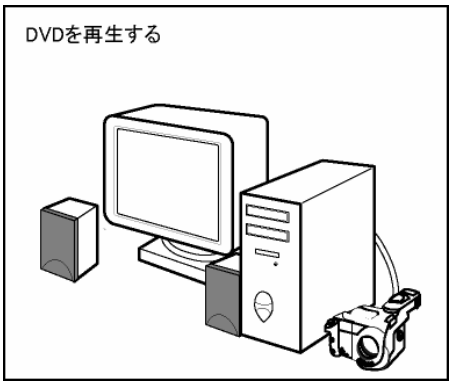
CD と同じサイズ（直径 12cm）でありながら片面二層メディアで 8.5GB という容量を備えた DVD メディアは、大容量ゆえに CD では実現できなかった事を可能にしてくれました。編集ソフトウェアやライティングソフトウェアを使用して、大量のデータを加工したり、保存したり、整理したりすることができます。

- DVD ビデオを作成する

付属の DVD オーサリングソフトウェアを使用してデジタルビデオカメラの編集をしたり、ビデオキャプチャー機器を使用してテレビ番組の録画やビデオテープの保存など幅広い用途でオリジナルの DVD ビデオを作成したりすることが可能です。

- DVD-ROM を作成する

DVD ライティングソフトウェアを使用して大容量データのバックアップや動画アルバム、プロモーション DVD の作成など、大切な情報を保存できます。もちろん DVD-ROM ドライブのある場所ならどこでも読み出すことができます。



CD の規格について

CD には様々な規格がありますが、本機は下記の規格に対応しています。

フォーマット	読み出し	書き込み
CD-DA	○	-
CD-ROM	○	-
Video CD	○	-
CD-R	○	○
CD-RW	○	○

※ それぞれに対応したアプリケーションが別途必要です

上記フォーマットのもと、本機は下記のメディアに対応しています。

CD-DA

CD-DA(Compact Disc-Digital Audio)は、音楽用 CD のことです。CD-DA は、音楽をサンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビットの PCM 方式でデジタル記録します。CD-DA の仕様は、規格書の表紙が赤いことから「レッドブック」と呼ばれています。

CD-ROM

CD-ROM（Compact Disc-Read Only Memory）は各種のデータが記録された、読み出し専用 CD のことです。ユーザーはデータの追加・消去を一切行えません。現在、ほとんどのソフトウェアは CD-ROM の形で流通しています。CD-ROM の仕様は、規格書の表紙が黄色いことから「イエローブック」と呼ばれています。

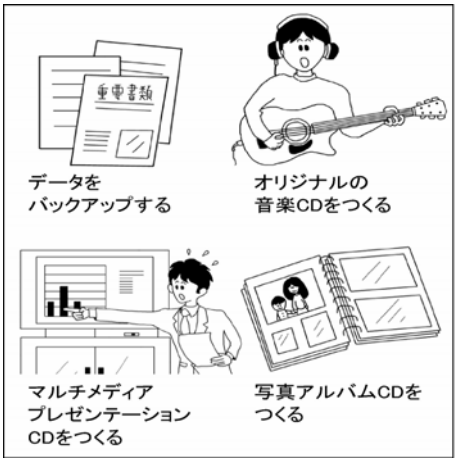
CD-R

CD-R（Compact Disc-Recordable）は書き込み可能な CD のことです。CD-R メディアには一度だけデータを書き込むことができます。書き込まれたデータは消去したり、改ざんしたりすることはできません。しかし、マルチセッションと呼ばれる方法により、メディアに空き容量があれば最大 99 回まで追記できます。

CD-RW

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）は、書き込みおよび消去が可能な CD のことです。CD-RW メディアには、データライティングソフトウェアを使用した場合は、CD-R と同じデータ量を書き込むことができます。また、パケットライト（ランダムライト）では最大約 530MB（650MB メディアフォーマット後）および約 570MB（700MB メディアフォーマット後）のデータを書き込むことができます。

CD-R / RW でこんなことができる

CD-R / RW ライティングソフトウェア※などを利用することにより、音楽 CD や CD-ROM の作成が簡単にできます。

- 音楽 CD を作成する

お気に入りの曲を集めて自分だけの CD を作成したり、自分の演奏を音楽 CD にして保存したりすることができます。

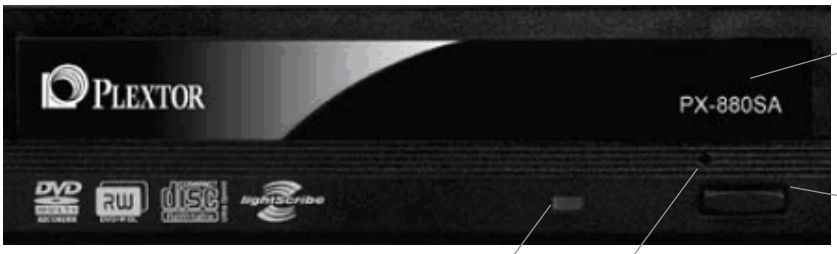
- 写真アルバム CD を作成する

データのバックアップや写真アルバムの作成など、大切な情報を保存できます。また、プレゼン資料などを CD-ROM 化すれば、CD-ROM ドライブのある場所ならどこでも読み出すことができます。

CD-R / RW ライティングソフトウェアとは、あらかじめ作成されている音楽データ、データファイルなどを CD-R / RW メディアに書き込むためのソフトウェアです。

各部の呼び方と主な機能

フロントパネル（前面）



トレイ

メディアをのせるトレイです。

イジェクトボタン

トレイの開閉を行います。

インジケータ

ドライブの動作状況を LED で表示します。

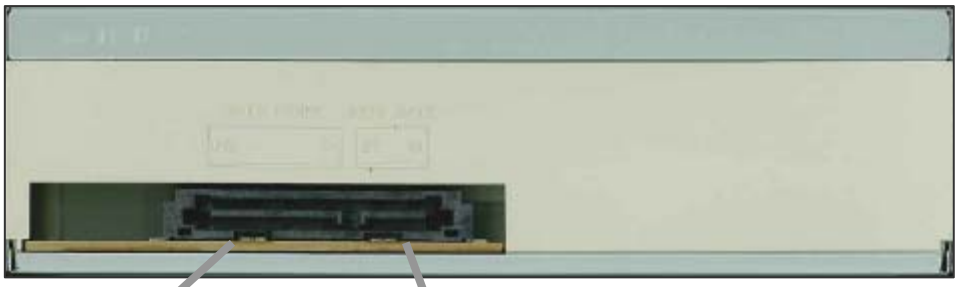
緊急イジェクトホール

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。

1. パソコンの電源を OFF にします。
2. 付属のエマージェンシースティックを緊急イジェクトホールに押し込むと徐々にトレイが出てきます。
3. トレイの端を指先で水平に引き出し、メディアを取り出します。

詳しくは「メディアを取り出せない場合は…」（18 ページ）をご覧ください。

リアパネル（背面）



電源コネクタ

シリアル ATA用電源ケーブルを刺します。

シリアル ATA インタフェースコネクタ

シリアル ATA データケーブルを使い、PC 本体のシリアルATAインタフェースに接続します。詳しくは同梱の『Plextor DVD ドライブ取付クイックガイド』をご参照ください。

動作環境の確認

本機をご使用になるためには、ご使用のパソコンが以下の環境を満たしている必要があります。
ご使用のパソコンのスペック表などをご参照の上、対応していることをご確認ください。

動作可能環境

対応機種※1	PC/AT 互換機（DOS/V 機）
OS※2	Windows XP / Windows Vista ™ /Windows 7
CPU	Pentium4 1.3GHz 以上
メモリ	256MB 以上
インタフェース	弊社動作確認済みシリアル ATA 搭載製品
HDD	推奨: 9GB 以上の空き容量
通信環境※3	インターネット接続環境があること

※ 1　5 インチベイ（5.25 インチベイ）を持つ機種に限ります。
※ 2　ご使用の OS によっては、この環境を上回るスペックが必要となる場合があります。詳しくは OS のユーザーズマニュアルなどをご参照ください。
※ 3　ファームウェア、付属アプリケーションのアップデートなどに必要です。また、CPRM 保護されたディスクを再生する際に必要となる場合があります。

推奨メディアについて

DVD±R / RW、DVD±R DL、DVD-RAM および CD-R / RW のメディアは、メーカーの違いや品質のバラつきなどにより、書き込み品質が十分に確保できないものもあります。弊社にて書き込みを推奨するメディアはホームページでご案内しています。

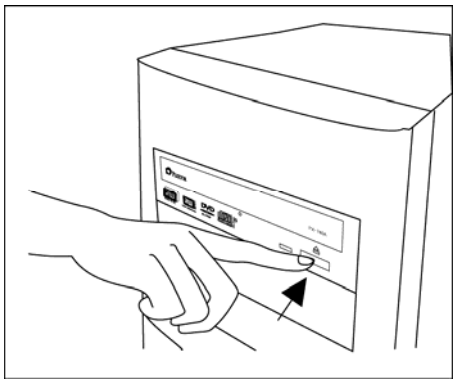
最新の推奨メディアは、ホームページでご案内しています。詳しくは http://plextor.jp/pc/をご参照ください。

DVD-RAM はカートリッジタイプには対応しません。

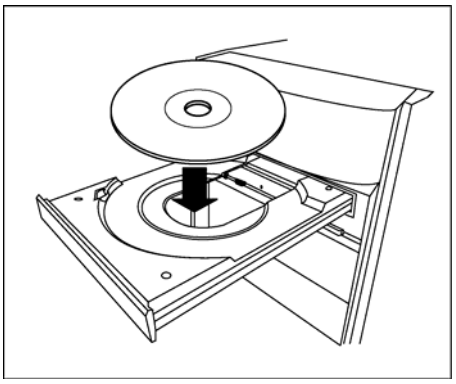
ドライブの使い方

メディアを挿入する

1. イジェクトボタンを押します。



2. メディアをトレイの中心のくぼみにのせます。



3. イジェクトボタンを押すか、トレイを軽く押してください。トレイが自動で閉まります。

注意

メディアのラベル面には、シールやレーベルなどを貼らないでください。シールなどを貼って使用するとディスクの回転が不安定になり、読み出し/書き込みエラーが発生したり、メディアに傷がついたりすることがあります。

注意

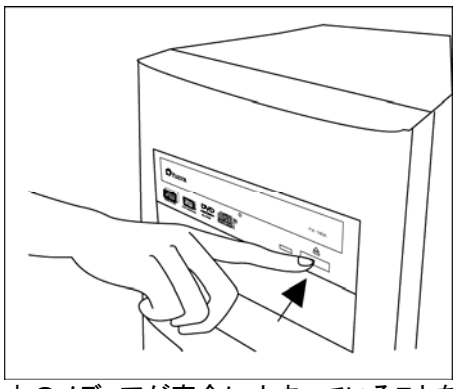
メディアがマウントされたとき、インジケータは消灯します。マウントの際には様々なディスク情報を取得するため、少々時間がかかります。

注意

スピンドルパッケージでメディアを購入すると、メディアの上に盤面を保護するためのスポンジなどが貼りついている場合があります。スポンジなどが本機内部に入ってしまうと動作不良の原因となりますので、メディア挿入の際は十分にご注意ください。

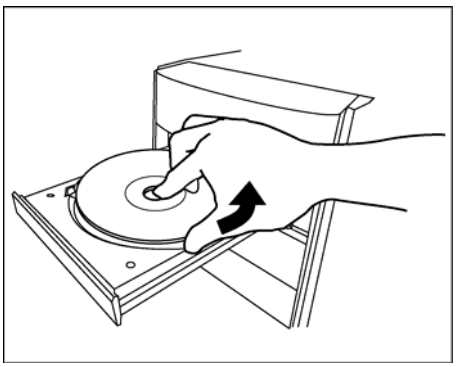
メディアを取り出す

1. イジェクトボタンを押します。



中のメディアが完全に止まっていることを確認します。

2. メディアを取り出します。



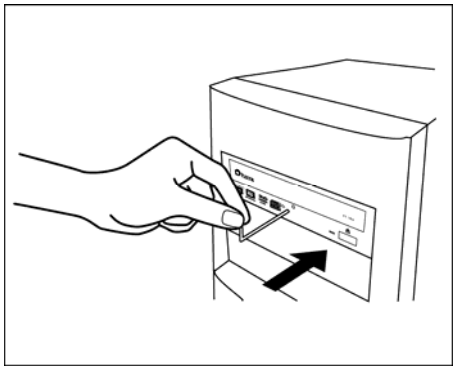
注意

トレイを出したままの状態にしておきますと、内部にホコリが入り故障の原因となったり、ぶつけて思わぬけがをしたりする恐れがあります。未使用時（または待機時）にはトレイを閉じておいてください。

メディアを取り出せない場合は…

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない場合：

1. パソコンの電源を OFF にします。
2. ビンを使ってイジェクトホールに押し込むと徐々にトレイが出てきます。



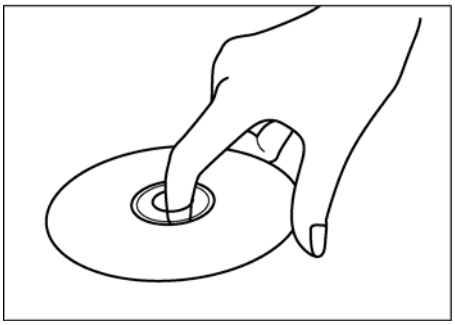
3. トレイの端を指先で水平に引き出し、メディアを取り出します。

ヒント

ビンを無理にイジェクトホールに挿せると、本体を傷める場合がありますので、無理せずに気をつけながら、ビンを押し込んでください。

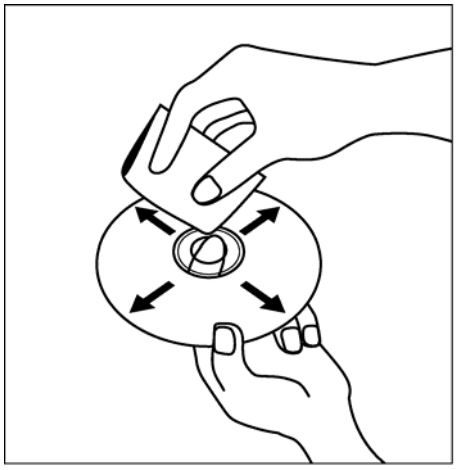
メディアの取り扱いについて

メディアの取り扱い



- メディアは指で中央の穴の部分と外線を挟むように持ちます。
- メディアを落とす、重ねる、メディアの上に重いものを載せるなど、強い衝撃を与えないでください。
- データを記録する面には触らないでください。
- メディアのラベル面には、シールなどを貼らないでください。シールなどを貼って使用するとディスクの回転が不安定になり、読み出し / 書き込みエラーが発生したり、メディアに傷がついたりすることがあります。
- メディアを保管する際には、ご購入時のパッケージや、専用ケースをご使用ください。
- メディアに傷があると読み出し / 書き込みエラーの原因となる場合があります。

メディアのクリーニング



- ホコリが付着している場合は、エアスプレーや柔らかい布等を使って中心から放射状方向に向かってメディアを傷つけないようにクリーニングしてください。

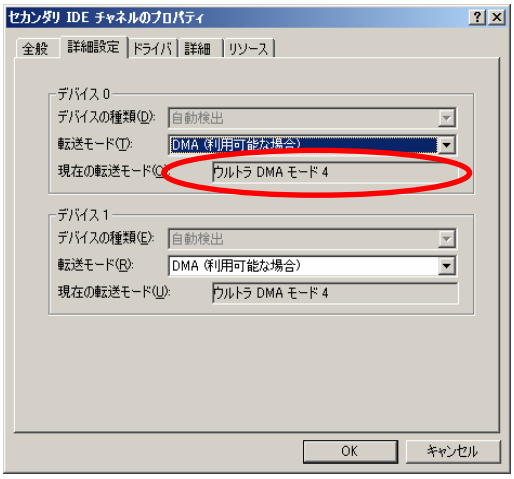
禁止

レンズクリーナーなどはドライブの故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

DMA 設定を有効にする

DMA（ダイレクト メモリ アクセス）とは、コンピュータシステム内でのデータ転送方式の一つで、CPU を介さずに各装置と RAM の間で直接データ転送を行う方式をいいます。本機の性能を発揮するには DMA 転送を行う必要があります。ここでは

Windows®XP の場合

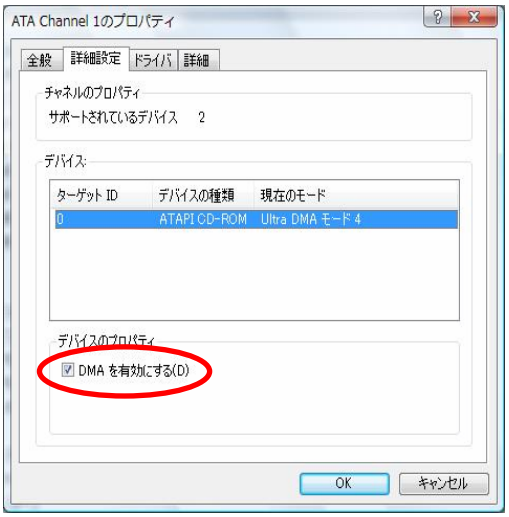


1. 【スタート】→【マイコンピュータ】を右クリック→【プロパティ】を選択します。
2. 次に【ハードウェア】タブを選択→【デバイスマネージャ】ボタンをクリックします。
3. 一覧の中の【IDE ATA/ATAPI コントローラ】をダブルクリックします。
4. 本機をプライマリ IDE チャネルに接続している場合には、【プライマリ IDE チャネル】、セカンダリ IDE チャネルに接続している場合は【セカンダリ IDE チャネル】をダブルクリックします。
5. 次に【詳細設定】タブをクリックします。
6. 本機をマスターに接続している場合は「デバイス 0」、スレーブに接続している場合には「デバイス 1」の枠内にある【転送モード】プルダウンメニューから「DMA（利用可能な場合）」を選択します。
7. プロパティ右下の【OK】をクリックします。

ヒント

コンピュータやマザーボードの種類、使用しているソフトウェアによっては、転送モードの変更方法が異なる場合があります。そのような場合には各メーカーにお問い合わせください。

Windows Vista™の場合



1. 【スタート】→【マイコンピュータ】を右クリック→【プロパティ】を選択します。
2. 次に【ハードウェア】タブを選択→【デバイスマネージャ】ボタンをク リックします。
3. 一覧の中の【IDE ATA / ATAPI コントローラ】をダブルクリックします。
4. 本機が接続されている ATA Channel をクリックします。
5. DMA を有効にする をチェックします。
6. プロパティ右下の【OK】をクリックします。

Windows 7™の場合

Windows Vista と同じなので、上記の手順をご参照ください。

ヒント

コンピュータやマザーボードの種類、使用しているソフトウェアによっては、転送モードの変更方法が異なる場合があります。そのような場合には各メーカーにお問い合わせください。

トラブル解決法

CD・DVD 共通

ドライブが認識されない
書き込みができない、書き込みエラーになる
読み出し時に異音が発生する

DVD

規定倍速で DVD メディアへの書き込みができない
DVD-Video の再生ができない
DVD でリードエラー（読み出しエラー）が発生する
DVD-Video 再生時にノイズ（雑音）が入る
DVD-Video 再生時に映像がコマ送りの状態になる
メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない
音声は聞こえるのに映像が表示されない

CD

規定倍速で CD-R メディアへの書き込みができない
規定倍速で CD-RW メディアへの書き込みができない
CD-RW メディアのデータを消去したのに書き込み跡が残る
メディアに追記できない
メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない
パソコンのスピーカーから音楽 CD の音が出ない

CD・DVD 共通

ドライブが認識されない

考えられる原因	対処方法
SATA ケーブルが正しく接続されていない	SATA ケーブルを差し直してください。詳しくは同梱の『Plextor DVD ドライブ取付クリックガイド』をご参照ください。 ケーブルを調べて、ピンにへこみ、曲がり、破損などがない事をご確認ください。
パソコン本体の BIOS にドライブが正しく設定されていない	パソコンの BIOS を起動し、ドライブの各ポートで disabled（無効）になっていないかご確認ください。 disabled（無効）になっている場合には enabled（有効）、または Auto（自動）にしてください。
電源ケーブルが正しく接続されていない	電源ケーブルが電源コネクタに正しく接続されている事をご確認ください。パソコンの電源を入れたとき、本機のインジケータが点灯する事をご確認ください。点灯しない場合は電源ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
本機に同梱されているソフトウェアを使用していない	本機に同梱されているソフトウェアをご使用ください。同梱されている製品以外のソフトウェアをご使用になる場合は、そのソフトウェアが本機をサポートしている事をソフトウェア販売元にご確認ください。

書き込みができない、書き込みエラーになる

考えられる原因	対処方法
本機に同梱されているソフトウェアを使用していない	本機に同梱されているソフトウェアをご使用ください。同梱されている製品以外のソフトウェアをご使用になる場合は、そのソフトウェアが本機をサポートしている事をソフトウェア販売元にご確認ください。
弊社推奨以外のメディアを使用している	弊社推奨もしくは動作確認済みのメディアをご使用ください。 推奨メディアについて,http://plextor.jp/pc/ をご参照ください。
メディアが裏表逆に入っている	メディアの記録面を下にして入れ直してください。
ハードディスクの容量が少ない	書き込み方式によってハードディスクの使用量は異なりますが、CD および DVD のイメージを作成した後、書き込みを行う場合にはデータ量の 1.5 倍程度の空き容量をハードディスクに確保してください。
バッファアンダーラン防止機能が動作していない	ソフトウェアがバッファアンダーラン防止機能に対応している事をご確認ください。対応している場合はバッファアンダーラン防止機能を有効にしてください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
DMA の設定がされていない	DMA の設定を有効にしてください。手順は以下の通りです。 1. 【スタート】→【マイコンピュータ】を右クリック→【プロパティ】を選択します。 2. 次に【ハードウェア】タブを選択→【デバイスマネージャ】ボタンをクリックします。 3. 一覧の中の【IDE ATA/ATAPI コントローラ】をダブルクリックします。 4. 本機をプライマリに接続している場合は【プライマリ IDE チャネル】、セカンダリに接続している場合は【セカンダリ IDE チャネル】をダブルクリックします。 5. 次に【詳細設定】タブをクリックします。 6. 本機をマスターとして接続されている場合は「デバイス 0」、スレーブとして接続されている場合は「デバイス 1」の枠内にある【転送モード】プルダウンメニューから「DMA（設定可能な場合）」を選択し、【OK】をクリックします。
ファイナライズ済みのメディアを使用している	ファイナライズ済みのメディアには、追記をすることができません。

読み出し時に異音が発生する

考えられる原因	対処方法
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。 （反りなどのあるメディアの場合、読み出しが正常にできていても異音を伴います）
メディアの表面にシールなどが貼ってある	メディアの表面にシールなどが貼られている場合、重心が中央からずれてしまい、回転の際にメディアが微妙に傾いて異音を伴う場合があります。このような時は、貼ってあるシールなどを剥がしてご使用ください。なお、剥がす際はメディアに傷を付けないようご注意ください。

DVD

規定倍速で DVD メディアへの書き込みができない

考えられる原因	対処方法
弊社推奨以外のメディアを使用している	弊社推奨もしくは動作確認済みのメディアをご使用ください。 推奨メディアについて,http://plextor.jp/pc/ をご参照ください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順につきましては、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
記録速度、データ転送速度が追いついていない	ロスレスリンキング機能やゼロリンク機能はバッファアンダーランを防ぎますが、実際の記録速度は記録開始時の設定速度よりも、大幅に低下します。バッファアンダーランの発生を抑えるために、書き込み時には他の作業を控えることをおすすめします。
ドライブの転送モードが PIO に設定されている	BIOS の転送モード設定で DMA が無効（PIO）に設定されていると記録速度が上がりません。パソコンの取扱説明書をご参照の上、UDMA を有効にしてください。 Windows 上の設定については 20 ページの「DMA 設定を有効にする」をご参照ください。

DVD-Video の再生ができない

考えられる原因	対処方法
DVD 再生ソフトウェアをインストールしていない	付属の DVD 再生ソフトウェアをインストールしてください。
ドライブおよび DVD-Video 再生ソフトウェアと DVD-Video ディスクのリージョンコードが合っていない	リージョンコードを合わせてご使用ください。 リージョンコードは 4 回まで変更することができます。
DirectX のバージョンが古い	Windows Update で最新にしてください
ビデオカードのドライバが古い	ビデオカード（VGA ボード）の最新ドライバを入手の上、更新してください。 ※ドライバの更新方法についてはパソコンメーカー、ビデオカードメーカーに確認ください。

DVD でリードエラー（読み出しエラー）が発生する

考えられる原因	対処方法
DVD-ROM メディアに不備、品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
DVD 再生ソフトウェアをインストールしていない	付属の DVD 再生ソフトウェアをインストールしてください。

DVD-Video 再生時にノイズ（雑音）が入る

考えられる原因	対処方法
サウンドボードが DVD-Video の再生に対応していない	ご使用のサウンドボードのドライバを最新にしてください。 ※ドライバにつきましては、各サウンドボードの販売元にご確認ください。

DVD-Video 再生時に映像がコマ送りの状態になる

考えられる原因	対処方法
ビデオカードが DVD-Video の再生に対応していない	ご使用の DVD 再生ソフトウェアに対応したビデオカードをご使用ください。 または、ビデオカードのドライバを最新にしてください。
メモリが不足している	メモリ容量が不足していると、処理速度が低下する「スワップ」という現象が起き、再生が滑らかに行われない場合があります。 メモリの増設を行ってください。
ディスクに傷、汚れがある	ディスクに傷や汚れがないかご確認ください。 ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。

メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない

考えられる原因	対処方法
メディアが裏表逆に入っている	メディアの記録面を下にして入れ直してください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
メディアの重心が傾いている	レーベル面に印刷されている DVD や音楽 DVD には重心が偏っているものがあるため、最高速度で読み出せないことがあります。ご利用いただいているソフトウェアに読み出し速度変更機能がございましたら、速度を落としてお試しください。
フォーマットが完了していない	DVD+RW メディアをご使用時には、フォーマットが完了していないとリード速度が遅くなる場合があります。フォーマットを完了させてからご使用ください。

音声は聞こえるのに映像が表示されない

考えられる原因	対処方法
解像度が高すぎる	現在設定されている解像度より低い設定で再生を行ってください。また、ビデオカードの開発元または販売元より最新のドライバがないかご確認ください。

CD

規定倍速で CD-R メディアへの書き込みができない

考えられる原因	対処方法
弊社推奨以外のメディアを使用している	弊社推奨もしくは動作確認済みのメディアをご使用ください。 推奨メディアについて,http://plextor.jp/pc/ をご参照ください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
記録速度、データ転送速度が追いついていない	バッファアンダーランが発生しそうになると、バッファアンダーラン防止機能が実行され記録エラーを防ぎますが、実際の記録速度は記録開始時の設定速度よりも、大幅に低下します。この現象は特に異常ではありませんが、バッファアンダーランの発生を抑えるために、書き込み時には他の作業を控えることをおすすめします。

規定倍速で CD-RW メディアへの書き込みができない

考えられる原因	対処方法
Ultra Speed CD-RW メディアを使用していない	Ultra Speed CD-RW メディアをご使用ください。 推奨メディアについて,http://plextor.jp/pc/ をご参照ください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順につきましては、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
記録速度、データ転送速度が追いついていない	バッファアンダーランが発生しそうになると、バッファアンダーラン防止機能が実行され記録エラーを防ぎますが、実際の記録速度は記録開始時の設定速度よりも、大幅に低下します。この現象は特に異常ではありませんが、バッファアンダーランの発生を抑えるために、書き込み時には他の作業を控えることをおすすめします。

CD-RW メディアのデータを消去したのに書き込み跡が残る

考えられる原因	対処方法
問題はありません	CD-RW メディアは物理特性上、一度書き込みを行うとデータを消去しても書き込み跡が残りますが、品質上、問題はございませんので、安心してご使用ください。

メディアに追記できない

考えられる原因	対処方法
異なるライティングソフトウェアを使用している	同一のメディアに異なるライティングソフトウェアで書き込みを行うと、書き込みができない事があります（ライティングソフトウェアの互換性による）。書き込みに使用するライティングソフトウェアは、必ず同一のものをご使用ください。
他社の CD-R/RW、DVD-R/RW ドライブで記録したメディアである	他社製品で書き込みをしたメディアには追記ができないことがあります。本機で書き込みをしたメディアをご使用ください。
追記データに対して、メディアの空き容量が不足している	1 枚のメディアに書き込める情報量は、TOC およびリードイン、リードアウトのデータを含めて 650MB（74 分メディア使用時）です。追記するデータに対して空き容量が不足する場合は、新たに別のメディアをご使用ください。
ディスクアットワンスで書き込まれたメディアを使用している	ディスクアットワンスで書き込まれていると追記ができません。新しいメディアをご使用ください。
トラックアットワンスで書き込まれ、CD クローズされたメディアを使用している	CD クローズされていると追記ができません。新しいメディアをご使用ください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。

メディアを読み出せない、メディアを認識しない、リード速度が上がらない

考えられる原因	対処方法
メディアが裏表逆に入っている	メディアの記録面を下にして入れ直してください。
メディアに傷、または品質不良がある	傷や品質不良のない、別のメディアをご使用ください。ホコリや指紋などで汚れている場合は、クリーニングしてください。クリーニングの手順については、19 ページの「メディアのクリーニング」をお読みください。
メディアの重心が傾いている	メディアのレーベル面に印刷されている CD や音楽 CD は重心が偏っているものがあるため、最高速度で読み出せないことがあります。ご利用いただいているソフトウェアに読み出し速度変更機能がございましたら、速度を落としてお試しください。

パソコンのスピーカーから音楽 CD の音が出ない

考えられる原因	対処方法
スピーカーがパソコンに正しく接続されていない	スピーカーとパソコンの接続状態をご確認ください。

保証について

本品が保障期間内に正常な使用状態で故障した場合のみ、保証記載内容に基づき無償保証致します。
ここで設定する保証期間内および保証内容につきましては、本品に添付した保証書をご参照ください。
本機に貼られたシールに製造番号が記載されています。本機シール上の[S/N]以下の数字部分が製造番号です。本機をパソコンへ取り付ける前に、この製造番号を保証書に転記してください。この製造番号は、製品に関するお問い合わせや、テクニカルサポートを受ける際に必要となります。

次のような場合は、保証の対象にはなりません

- お客様の取り扱い、操作方法が不適当なため生じた故障。
- 不当な改造、修理が加えられた場合。
- 他機器との接続が本機の仕様に適合していないため生じた故障。
- 部品の消耗の場合。（光ピックアップ等）
- 故障の原因が本機以外の機器による場合。
- 弊社以外で修理を行った場合。
- 本機より取り外した部品の修理。
- フロントパネル等、外面の損傷の場合。
- 落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変による故障または損傷の場合。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書に購入年月日、販売店名の記入捺印なき場合、または保証書字句を書き換えられた場合。
- 落下等の過大な衝撃による破損。

※製品保証は、日本国内においてのみ有効です

弊社は、いかなる状況においても、お客様の所有物や設備における損害や損失、利益や歳入の損失、部品交換のコスト、業務の中断によって発生した費用や不都合などの損害については、直接的、間接的、あるいは特殊、偶発であるに関わらず、一切の責任を負わないものとします。
また、あらゆる状況において、いかなる人物に対しても本機の購入価格以上の金額が支払われることはありません。

保証サービスを受ける場合は、まず本機を購入した販売店にご連絡ください。その際、本機の保証が有効である事を確認するため、購入を証明する書類を提示していただく場合があります。弊社または認定取り扱い店に製品を返却する場合は、梱包の上、元払いにてご発送ください。梱包の際には 5 ページの「移動の際などに注意する」をご参照ください。

アフターサービス

困ったらまずトラブル解決法を

本機をインストール、あるいは操作している時にトラブルが発生した場合は、まずトラブル解決法（21 ページ～27 ページ）を参考にしながら対処してください。それでも解決できない場合は弊社お客様サポートまでご連絡ください。

お問い合わせでご準備いただくもの

お問い合わせをいただく前に、次の事項に関してあらかじめ準備していただくと、より速やかな対応が可能となります。

- 本機の製造番号
- ファームウェアのバージョン
- ライティングソフトウェアおよびそのバージョン
- 使用している OS とそのバージョン
- パソコンの種類と型番またはマザーボードの型番
- ハードディスクや CD-ROM ドライブなど、パソコンに接続している周辺機器の種類と型番

製品修理をご依頼いただく場合

弊社お客様サポート宛に電子メール(E メール)でご連絡ください。担当者より修理の手続きについてご説明をさせていただきます。
その際に必ず次の事をお知らせください。
E メールサポートフォーム（24 時間受付）
http://plextor.jp/pc/support/agency_support.html

- 製品型名
- 番号
- 購入日・購入店
- パソコンの仕様・環境
- 障害状況

仕様

製品名称		PX-880SA
型式		DOS/V 用 シリアル ATA 内蔵型※1 DVD スーパーマルチドライブ
インタフェース		Serial ATA 1.0 Generation 1 準拠
サポートメディア	DVD	DVD-ROM 1 層 / 2 層、DVD-R (4.7GB for General Ver2.0)、DVD-R DL (Ver.1.9)、DVD-RW (Ver.1.1/1.2)、DVD+R (Ver.1.2)、DVD+R DL (Ver.1.0)、DVD+RW (Ver.1.2)、DVD-RAM (Ver.2.0)
	CD	レッドブック、イエローブック、グリーンブック、ホワイトブック、ブルーブック、オレンジブックパート 2、オレンジブックパート 3
ディスク径	DVD	12cm 8cm(DVD-R/RW のみ)
	CD	12cm 8cm
書き込み/読み込み可能フォーマット	DVD※2	DVD-RAM、DVD-ROM、DVD-Video、DVD+VR、DVD-VR、マルチセッション、マルチボーダ
	CD※2	CD-DA、CD Extra、Video CD、Photo-CD、CD-ROM Mode-2、CD-ROM Mode-1、CD-ROM XA、CD TEXT、CD-I、マルチセッション、Mix Mode CD
書き込み方式	DVD+R	ディスクアットワンス マルチセッションレコーディング インクルメンタルレコーディング
	DVD+R DL	ディスクアットワンス マルチセッションレコーディング インクルメンタルレコーディング
	DVD+RW	ディスクアットワンス インクルメンタルレコーディング ランダムアクセスレコーディング
	DVD-R	ディスクアットワンス マルチボーダーレコーディング インクルメンタルレコーディング
	DVD-R DL	ディスクアットワンス インクルメンタルレコーディング レイヤージャンプレコーディング
	DVD-RW	ディスクアットワンス マルチボーダーレコーディング インクルメンタルレコーディング リストリックティドオーバーライト
	DVD-RAM	シーケンシャルライト ランダムライト
	CD-R/RW	トラックアットワンス ディスクアットワンス パケットライト セッションアットワンス
連続データ転送速度（理論値） 1 倍速の転送速度 DVD：1385KB/S CD：150KB/S	DVD+R※2	24 倍速/22 倍速/20 倍速/18 倍速 /16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速（記録時）、最大 16 倍速（再生時）
	DVD+R DL	12 倍速/8 倍速 / 6 倍速/ 4 倍速 / 2.4 倍速（記録時）、最大 12 倍速（再生時）
	DVD+RW	8 倍速 / 6 倍速/ 4 倍速 / 2.4 倍速（記録時）、最大 12 倍速（再生時）
	DVD-R※2	24 倍速/22 倍速/20 倍速/18 倍速/16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速（記録時）、最大 16 倍速（再生時）
	DVD- R DL	12 倍速 / 8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速（記録時）、最大 12 倍速（再生時）
	DVD-RW	6 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速（記録時）、最大 12 倍速（再生時）
	DVD-RAM※3	12 倍速 / 8 倍速/6 倍速/5 倍速 / 3 倍速 / 2 倍速（記録時）、最大 12 倍速（12 倍速対応 DVD-RAM 再生時）
	DVD-ROM	最大 16 倍速（1 層ディスク再生時）、最大 12 倍速（2 層ディスク再生時）
	CD-R	48 倍速 / 40 倍速 / 32 倍速 / 24 倍速 / 16 倍速 / 8 倍速（記録時）、最大 48 倍速（データ CD 再生時）
	CD-RW	32 倍速 / 24 倍速 / 16 倍速 / 10 倍速 / 4 倍速（記録時）、最大 40 倍速（データ CD 再生時）
	CD-ROM	最大 48 倍速（データ CD 再生時）
データバッファ容量		2MB
アクセスタイム	DVD±R / RW	160ms
	CD-ROM	150ms
ローディング方式		トレイ方式

周囲温度(動作時)	5～45℃
湿度（動作時）	15～80%[RH]（結露なきこと）
電源	DC +5V / +12V
設置方向	横置き / 縦置き
外形寸法	幅 146mm×高さ 41.3mm×奥行 170mm (フロントベゼルおよび突起部含む)
質量（本体）	約 900g

仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更されることがあります。
DVD、CD とも、書き込みを行う際には各々の書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

※ 1　開閉型の前面パネルを持つパソコンに取り付けする場合、本機のシャッターの開閉に支障が出ることがありますので、ご注意ください。

※ 2　記録/再生するメディアやフォーマットによっては別途専用ソフトウェアなどが必要になる場合があります。また、メディアの書き込み状態や記録形式によっては性能が保証できない場合があります。

※ 3　12 倍速対応のディスク使用時の書込み速度は 12 倍速のみとなります。

最新の推奨メディアやハードウェアは、ホームページでご案内しています。詳しくは http://plextor.jp/pc/をご参照ください。

Microsoft、Windows、Windows7、Windows XP Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。